

ジェネリック医薬品地域協議会の実施報告について

会議	平成 26 年度第 2 回八女筑後地区ジェネリック医薬品地域協議会
日時	平成 27 年 2 月 26 日（木）午後 3 時～
場所	八女筑後医師会訪問看護ステーション
議論	<p>1. 事務局から下記について報告された。</p> <p>① 平成 26 年度上半期流通実態調査の結果</p> <p>② 平成 26 年度県政モニターアンケート調査の集計結果</p> <p>③ 県民向け啓発資材「ジェネリック医薬品 Q & A」の改訂等</p> <p>2. 基幹病院採用品目リスト事業</p> <p>① 八女筑後薬剤師会から検討委員会の実施状況の報告があり、その成果物である「八女筑後地区基幹病院採用ジェネリック医薬品リスト」が提示された。</p> <p>② 診療所及び薬局に対して印刷物を配布し、八女筑後薬剤師会のホームページで会員向けに公表することとされた。</p>
今後	平成 26 年度末までに八女筑後薬剤師会から診療所及び薬局に「八女筑後地区基幹病院採用ジェネリック医薬品リスト」の印刷物を配布し、八女筑後薬剤師会のホームページでも会員向けに公表する予定。

会議	平成 26 年度第 2 回北九州地区ジェネリック医薬品地域協議会
日時	平成 27 年 3 月 12 日（木）午後 2 時～
場所	北九州市役所 プレゼンテーションルーム
議論	<p>1. 事務局から下記について報告された。</p> <p>① 平成 26 年度上半期ジェネリック医薬品流通実態調査の結果</p> <p>② 地域協議会の実施状況</p> <p>③ 北九州市民向けアンケート調査の集計結果（別紙）</p> <p>2. 基幹病院採用品目リスト事業</p> <p>① 八幡薬剤師会から検討委員会の実施状況の報告があり、その成果物である「八幡地区基幹病院採用ジェネリック医薬品リスト」が提示され、了承された。</p> <p>② 八幡地区等の病院、診療所及び薬局に印刷物を配布し、八幡薬剤師会のホームページで会員向けに公表することとされた。</p> <p>③ 北九州市保健福祉局地域支援部保護課から、院内処方を中心とする北九州地区全域の病院にリストを配布できないかとの意見があり、今後、配布の可否について関係団体等と調整が必要とされた。</p> <p>3. 研修会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 八幡薬剤師会で会員薬剤師（147 名）にジェネリック医薬品に関する研修会が実施されたことが報告された。
今後	平成 26 年度末までに八幡薬剤師会から病院、診療所及び薬局に「八幡地区基幹病院採用ジェネリック医薬品リスト」の印刷物を配布し、八幡薬剤師会のホームページでも会員向けに公表する予定。

北九州市民向けアンケート調査の集計結果

福岡県保健医療介護部薬務課

【はじめに】

平成 26 年度第 1 回北九州地区ジェネリック医薬品地域協議会において、北九州市の実状を把握するため、ジェネリック医薬品に対する意識や利用状況等に関するアンケート調査を実施することとした。また、北九州市民以外と比較するため、同時期に実施した被保険者及び県政モニターアンケート調査の集計結果と比較検討した。

【調査方法】

北九州市在住の被保険者に対して、平成 26 年 12 月発送分の差額通知に同封して調査票を郵送し、回答期限迄に提出された回答票に基づき、集計及び統計解析を行った。調査票の発送件数は、平成 26 年 12 月発送の差額通知の地区毎の発送件数で按分して決定した。

統計解析は各項目で X^2 検定を行い、有意水準 5% で算定した。

【結果】

(1) 回答状況

回答率は、北九州市全体 32.1% (321/1000 例)、各地区は 32.5±3.9% の範囲であり、回答率について地区間の差異はなかった (表 1)。

年齢構成は、60 代 58.6% (188/321 名)、70 代以上 24.0% (77/321 名) と高齢者が大半を占めた (表 2)。

表 1. 回答票の提出状況

	送付数	回答	割合
門司	111	37	33%
小倉北	204	65	32%
小倉南	213	63	30%
若松	96	33	34%
八幡東	74	29	39%
八幡西	242	78	32%
戸畑	60	16	27%
計	1000	321	32.1%

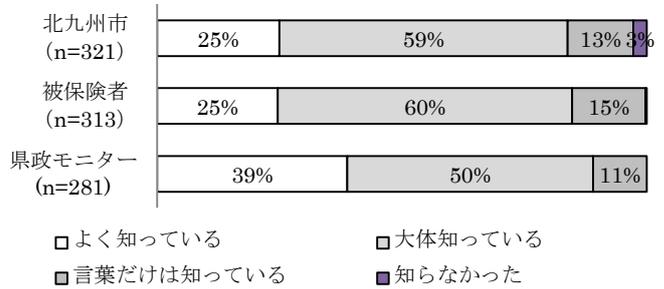
表 2. 年齢層

年齢	回答	割合
20 代	14	4.4%
30 代	9	2.8%
40 代	12	3.7%
50 代	21	6.5%
60 代	188	58.6%
70 代	77	24.0%
計	321	100%

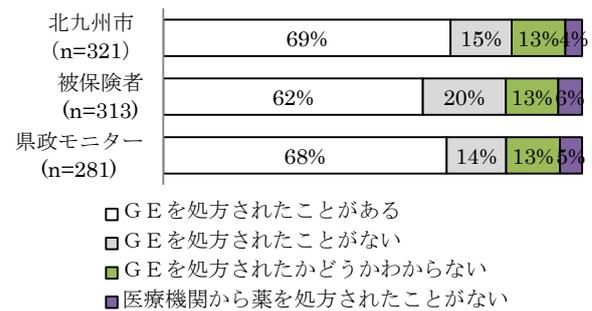
(2) ジェネリック医薬品に関する設問

① **ジェネリック医薬品の認知度**：ジェネリック医薬品について、「良く知っている」25%*、「大体知っ

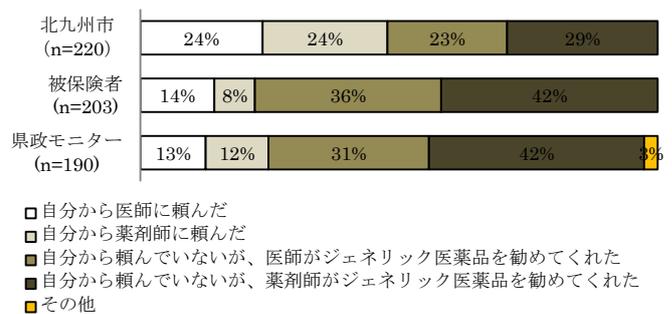
ている」59%、「言葉だけ知っている」13%、「知らなかった」3%であり、北九州市民の大半(97%)がジェネリック医薬品を認知していた。北九州市民、被保険者の群間で有意差は認められなかった ($p>0.05$)。



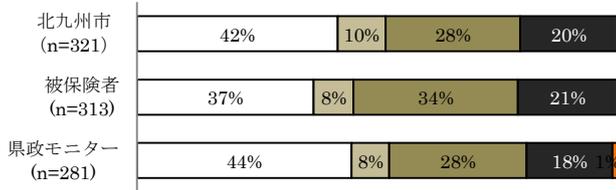
② **ジェネリック医薬品の使用歴**：「ジェネリック医薬品を処方されたことがある」69%、「ジェネリック医薬品を処方されたことがない」15%、ジェネリック医薬品を処方されたかどうか分からない」13%、「医療機関から薬を処方されたことがない」4%であり、北九州市民の少なくとも 69% でジェネリック医薬品の使用実績があった。各項目とも群間に有意差は認められなかった ($p>0.05$)。



③ **ジェネリック医薬品の処方(調剤)の依頼先**：「自分から医師に頼んだ」24%*、「自分から薬剤師に頼んだ」24%*、「自分から頼んでいないが、医師がジェネリック医薬品を勧めてくれた」23%*、「自分から頼んでいないが、薬剤師がジェネリック医薬品を勧めてくれた」29%*であり、北九州市では患者自らが医師又は薬剤師に要望する例数が他群と比較して有意に多かった。 ($p<0.05$)。

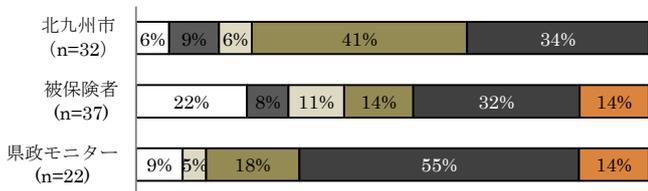


④ **先発医薬品とジェネリック医薬品の選択**：「ジェネリック医薬品の処方希望する」42%、「先発医薬品の処方を希望する」10%、「医師、薬剤師の判断に任せる」28%、「効果や支払金額等について説明を受けてから決める」20%であり、ジェネリック医薬品を予め否定する事例はほとんどなく、専門家等の説明を踏まえ、効果や支払金額等で判断する事例が多かった。群間で有意差は認められなかった。(p>0.05)



- ジェネリック医薬品の処方希望する
- 先発医薬品の処方を希望する
- 医師、薬剤師の判断に任せる
- 効果や支払金額等について説明を受けてから決める
- その他

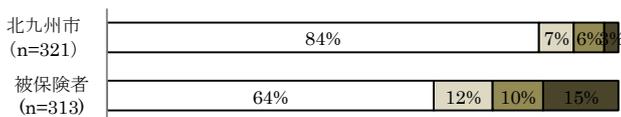
⑤ **ジェネリック医薬品を希望しない理由**：「医師、薬剤師が、ジェネリック医薬品を勧めないから」6%*、「家族、友人等が、ジェネリック医薬品を勧めないから」9%、「期待するほど、支払金額が安くないから」6%、「以前、利用したが、自分に合わなかったから」41%*、「効果や安全性等に対して、不安があるから」34%*であり、*の項は群間で有意差が認められた (p<0.001)



- 医師、薬剤師が、ジェネリック医薬品を勧めないから
- 家族、友人等が、ジェネリック医薬品を勧めないから
- 期待するほど、支払金額が安くないから
- 以前、利用したが、自分に合わなかったから (味、大きさ、使用感など)
- 効果や安全性等に対して、不安があるから
- その他

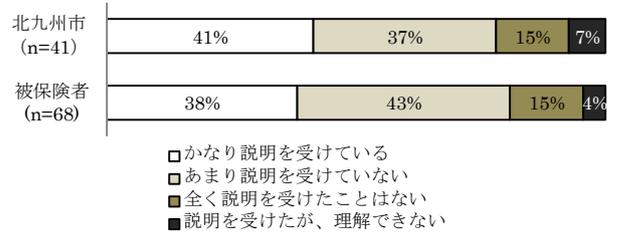
(3) お薬手帳に関する設問

⑥ **お薬手帳の使用実態**：「お薬手帳を1冊持って、受診時に利用している」84%*、「お薬手帳を1冊持っているが、使い方がよく分からない」7%、「お薬手帳を複数持っている」6%、「お薬手帳を持っていない」6%、「お薬手帳を知らない」3%*であり、*の項で群間に有意差が認められた。(p<0.0001)



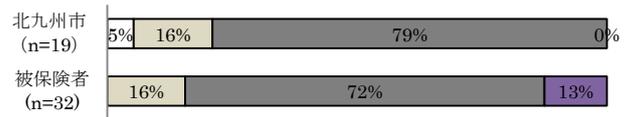
- お薬手帳を1冊持って、受診時に利用している
- お薬手帳を1冊持っているが、使い方がよく分からない
- お薬手帳を複数持っている
- お薬手帳を持っていない

⑦ **お薬手帳の説明状況**：前問で「お薬手帳の使い方が良くわからない」又は「お薬手帳を複数持っている」と回答した者に対し、薬局でのお薬手帳に関する説明状況を確認したところ、「かなり説明を受けている」41%、「あまり説明を受けていない」37%、「全く説明を受けたことはない」15%、「説明を受けたが、理解できない」7%であり、群間で有意差は認められなかった。(p>0.05)



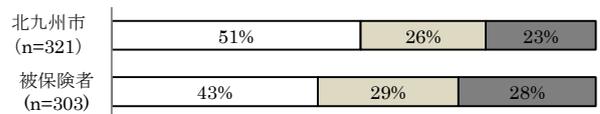
- かなり説明を受けている
- あまり説明を受けていない
- 全く説明を受けたことはない
- 説明を受けたが、理解できない

⑧ **お薬手帳を複数所持する理由**：「他の医療機関に服用中の医薬品を知られたくない」5%、「自分で医療機関毎に管理している」16%、「忘れた際に薬局が手帳を発行してくれる」79%であり、群間で有意差は認められなかった。(p>0.05)



- 他の医療機関に服用中の医薬品を知られたくない
- 自分で医療機関毎に管理している
- 忘れた際に薬局が手帳を発行してくれる
- その他

⑨ **医療機関での「お薬手帳」の利用状況**：「医療機関から受診時に必ず提示を求められる」51%、「受診時に時々提示を求められる」26%、「受診時に提示を求められたことはない」23%であり、群間で有意差は認められなかった。(p>0.05)



- 受診時に必ず提示を求められる
- 受診時に時々提示を求められる
- 受診時に提示を求められたことはない

【考察】

北九州市民のジェネリック医薬品及びお薬手帳に対する意識及び利用状況は、他の調査結果と比較して有意差はなく、概ね普及している状況である。ただし、実際に使用して体に合わない、効果や安全性に不安があるとの回答も多かったため、医師及び薬剤師から患者に対してジェネリック医薬品を安心して使用できることを更に周知する必要がある。お薬手帳に関しては、北九州市における使用実績が有意に高かったことから (⑥)、利用が進んでいる傾向が認められた。